



資産形成・承継などを総合的に支援

公平な立場から資産運用の助言を行うIFA (Independent Financial Advisor: 独立金融アドバイザー) 事業を展開するきわみアセットマネジメント株式会社。コンサルティング部長を務める石原玄紀さんは、顧客の金融相談にのるほか、ライフプランニングや税金、相続対策への相談に対応。経営者に寄り添った支援を展開している。

金融アドバイザー

きわみアセットマネジメント株式会社

石原玄紀



「金融のかかりつけ医」として 気軽に相談できる存在を目指す

2019年、金融庁の金融審議会市場ワーキング・グループが老後資金として公的年金以外に約2000万円が必要となると発表し、「老後2000万円問題」としてメディアなどで大きく取り上げられた。人生100年時代を迎え、人生設計に合わせたマネープランを考えることが求められているが、多くの人は金融知識がないため1人でプランを考えるのは困難と言える。そこで今注目を集めているのが特定の金融機関に属さず、公平な視点で資産運用の助言を行う専門家であるIFAだ。

きわみアセットマネジメント株式会社は、IFA事業を展開すべく2019年に創業した。大きな

一口メモ

金融先進国と称されるアメリカではIFAが30年ほど前から普及しており、金融アドバイザー全体の70%以上が独立系とも言われる。日本国内のIFA企業は900ほど、アドバイザーの人数では4000人弱(2019年12月末現在)とされているが、今後増えていくことが見込まれる。

特徴は、医療従事者専門チームを設置していることだ。この狙いについてコンサルティング部長の石原玄紀さんは「医療従事者は、地域住民の命や健康を守る、社会に大きな役割を担っています。資金面の不安を抱えることなく医療に専念できるよう、資産形成・承継などのトータルサポートを提供しています。医療においてかかりつけ医の重要性が指摘されていますが、当社は「金融のかかりつけ医」として気軽に相談いただける存在を目指しています」と説明する。

同社では、医療従事者専門チームのメンバーに対して医療経営士資格を推奨。多くの社員が医療経営士を取得している。石原さんは医療従事者専門チームには属していないものの、ファイナンシャルプランナーとしてライフプランニ

高校生を対象とした 投資教育にも取り組む

学習指導要領の改訂により22年4月から高校の家庭科授業に「資産形成」を盛り込むと規定された。この流れを受けて石原さんは高校生に対する投資教育に注力。私立高校で投資や資産形成についての授業などを行っている。

「将来医師をはじめ医療従事者を目指す学生がたくさんいますので、若いうちから金融について理解してもらおうようにサポートしたいと考えています。高校での授業に加え、情報提供にも積極的に取り組んで信頼を得ることで、当社に任せれば安心だと思ってくただけるように努めていきます」と石原さんは意欲的に語る。

私の三本の矢

仕事をするうえで“ハズせない”
3つのアイテムを紹介

①

セミナー資料

金融情報や相続対策などのセミナーの講師として、年間で50回の講演を行っています。セミナーのための資料は仕事にかかせないアイテムです。

②

資産運用デザインゲーム

高校生や大学生への投資教育に取り組んでおり、ゲームを通じてお金の動きを学んでもらえるようにとの思いで授業に取り入れました。現在はアプリ版も出ています。

③

中田新聞

より多くの人に金融や投資について知ってほしいとの思いから情報発信に力を入れており、セミナーのほかに新聞で記事を書くなどの活動も行っています。

Respected person — 尊敬する人 —

株式会社MediBATO
代表取締役
中村慎吾 さん



医療法人の事業承継、M&A、医療法人設立など医療に特化したコンサルタントとして活躍されています。医療法人制度についての知識が非常に豊富で、厚生労働省において認定医療法人の認定審査業務にも従事。これまでに投資持分や認定医療法人など、さまざまなことを教えていただいています。

Profile

いしはら・げんき ● 中京大学経済学部卒業後、FP事務所に入社。その後、トヨタファイナンシャルサービス証券(現:東海東京証券)、東海東京ウェルネス・コンサルティングにて経営企画や営業、大手税理士法人への出向、富裕層対象の相続コンサルティングに従事。2020年、きわみアセットマネジメントに初期メンバーとして入社。CFP®(日本FP協会認定)、1級ファイナンシャル・プランニング技能士、宅地建物取引士、医療経営士3級